

Hi, friends 1 Lesson 7 第3時

6 本時の学習 (3/4)

(1)本時のねらい: ある物が何かを尋ねたり応えたりする表現に慣れ親しむ。

(児童のめあて… 例: ある物が何かをたずねよう! 答えよう!)

(2)評価規準 : ある物が何かを尋ねたり答えたりしている。(外国語への慣れ親しみ)

(3)展開

過程	児童の活動	学級担任の活動	・ 指導上の留意点 ☆準備物 (コ) (慣) (気) 評価規準 < > 評価方法 ◆ 他教科との関連
挨拶	○始めの挨拶 “Let’s start!” ○ジェスチャーしながらあいさつ	“Let’s start!” “How are you?”	
導入	○P.30【Let’s Chant】 What’s this? ・リズムに合わせて、デジタル教材と一緒に言う。	・デジタル教材を聞かせる。	
展開	○本日のめあてを知る。 ○ブラックボックスクイズ ・代表児童がボックスに手を入れ、物に触って何かを当てる。 * 他の児童 “What’s this?” ・想像できれば答える。わからなければヒントをもらおう。 “It’s ~.”または“Hint, please.” ・正解すれば “That’s right.” 間違っていれば “Close.(惜しい)” ・代表児童を交代して行う。 ○ジェスチャークイズ ・代表生徒が前に出てくる。 ・カードを引き、そこに描かれてあるものをジェスチャーで表現する。 ・ジェスチャー後、“What’s this?”と尋ね、分かった児童は挙手をして答える。 ・正解すれば “That’s right.” 間違っていれば “Almost!(惜しい)” ・代表児童を交代して行う。 ○クイズ大会をしよう(準備) ・スリーヒントクイズをグループごとに準備する。 ①何を出題するか決める。 ②3つのヒントを考える。 ③答えを絵に描く。	・本日のめあてを伝える。 ・活動を説明する。 ・代表児童を決めて前に来させ、目を閉じさせている間にボックスに物を入れる。 * 触っても危険のない物 * ヒントはグループごとに順を決めて言わせるようにするとよい。 全員に英語で尋ね、答えを確認する。 “What’s this?” “It’s ~.” ・慣れてきたら児童が尋ね、他の児童が答える形を取る。 ・活動を説明する。 ・他の児童には見せないようにカードを引かせる。 ・多くの児童に発言の機会が与えられる配慮しながら、挙手した児童を指名する。 ・活動を説明する。(実際にクイズをやってみせるとよい。) ・各グループに答えを描く紙を2~4枚ずつ配布する。 ・各グループを回って、必要な場合は支援する。	☆ブラックボックス ・ブラックボックスは、段ボール箱などを利用し、他の児童には前から中身が見えるように工夫して作成するとよい。 * ボックスは使用せず、アイマスク等をして触るようにしてもよい。 (慣)ある物が何かを尋ねたり答えたりしている。 < 行 動 観 察 > ☆画用紙・マジックなど ・3つのヒントの出し方の考え方 1つめのヒントで3割がわかる。 2つめのヒントで半分がわかる。 3つめのヒントで全員がわかる。
挨拶	○ふり返りカードに記入し、発表。 ○終わりの挨拶 “Let’s finish.”	○ふり返りカードを配付。 何人かに発表させ、回収する。 “Let’s finish.”	☆ふり返りカード

